



● 常陸太田市 趣味を極める暮らし

15



「蜂を飼いたくて家を探した」とおおらかな笑顔で話すIさん。趣味用の別荘にと思っていた家だが、結果的に奥様と完全移住。広いお庭には家庭菜園を営むビニールハウスや、養蜂用のたくさんの蜂箱があり、楽しげに案内していただいた。常陸太田市に来てからは月1回の朝市に出店したりお祭りに参加したりと、積極的に地域に関わりながら趣味を楽しむIさん。ここまでの空き家活用の経緯や暮らしぶりをお伺いした。

Q. 今回、空き家購入に至った経緯を教えてください。

埼玉県に住んでいましたが、以前から趣味で空間のクラインガルテン（滞在型市民農園）に通いながら農業をしており、そこでの友人の紹介がきっかけで養蜂も始めました。ただ、数年前にその運営元が変わって、もしかしたら将来そこで養蜂ができなくなるかもしれないと思い、養蜂ができる場所として空き家を探し始めたのが発端です。





Q. 物件探しはどのようにされましたか。

最初は笠間市の「空き家バンク」を利用して探しましたが、いいなと思う物件でも、蜂を飼うとなると近隣にお子さんのいるお家があったりして断念していました。その後、他の自治体にも範囲を広げて探して今の物件を見つけ、しかも内覧に来た時にご近所の方に養蜂ができそうか聞いてみると、「みんな飼ってるよ」と教えてくれて。それで、もうここかなと思いました。

Q. 元々、趣味用の別荘と考えていたとのことでしたが、奥様と一緒に完全移住となったのはどういった経緯があったのですか？

埼玉で住んでいたマンションを売りに出してみたら、驚くほどすぐに売れたんです。それをきっかけに妻と一緒に完全に移住することになりました。妻は仲の良い友人にも移住を勧められたそうで、移住を決断してくれました。

Q. リノベーションにはどのように取り組まれましたか？

空き家バンク利用時の不動産業者が土木施工の資格も持っていて、そのままお願いしました。面白いご縁があり、担当者が笠間でお知り合いになっていた方で、色々助言をもらいながら施工してもらいましたね。天井に断熱材を入れ、台所やトイレ、畳などをリフォームしました。妻の要望で、お風呂は足を伸ばして浸かれるものに作り替えました。全体で費用は700万円くらいでした。空き家バンクの補助金からも100万円の補助をいただきました。



Q. こだわりのポイントなどはありますか？

家庭菜園をしたかったので庭にビニールハウスを作ったことと、井戸を使えるようにしたことです。井戸は飲用にはできなかつたんですが、農業用として活用しています。それ以外は特にこだわりというほどのものはありませんが、少なくとも水回りさえちゃんと綺麗にできれば、そこそこ満足できると思っています。

Q. この家、この地域での暮らしはいかがでしょうか？

おかげさまでのびのびと農業や養蜂をできていますし、釣りにもよく出かけています。養蜂の方は移住してきてから生産した蜂蜜を月1回の朝市で出店するようにもなりました。元々、老後に無趣味な高齢者になりたくないという思いもあって始めた家庭菜園だったので、継続して楽しくできているのは良いことですね。一方で、車がないと移動が不便なところは、特に妻が日々感じていると思います。地域の体操教室や集まりに行くにしても、車を運転しない人だと不便な環境でもあります。



Q.地域での交流はありますか？

前オーナーがご近所で周囲に慕われていることもあってか、皆さんとてもよくしていただけます。食べ物のお裾分けもしばしば。こちらとしてもJAの組合に入って一緒に活動したり、移居前から地域のお祭りに参加したりと、地域に溶け込むことができたなら良いなと思いながら過ごしています。移住当初は「どうしてこんなところに！」と驚かれることもありましたが、新参者を弾こうとせず、かといって無理やり仲間にするのではなく、心地よい距離感のお付き合いをしてくださっていると感じます。

**Q.空き家を検討している方々へのアドバイスはありますか？**

そこでの暮らしが、趣味に合っているかが大切だと思っています。老後のことを考えても、それはは基準の一つとして持っていて良いと思いますかなと思います。あとは、田舎の課題として交通の便の問題はあって、自分の年齢や生活スタイルが、そこでの暮らしと相性が良いかどうかはよく考えたいところかもしれません。